

あどぼけいと

HSK

1973年1月13日第三種郵便物承認 HSK通巻番号563号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2019年2月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

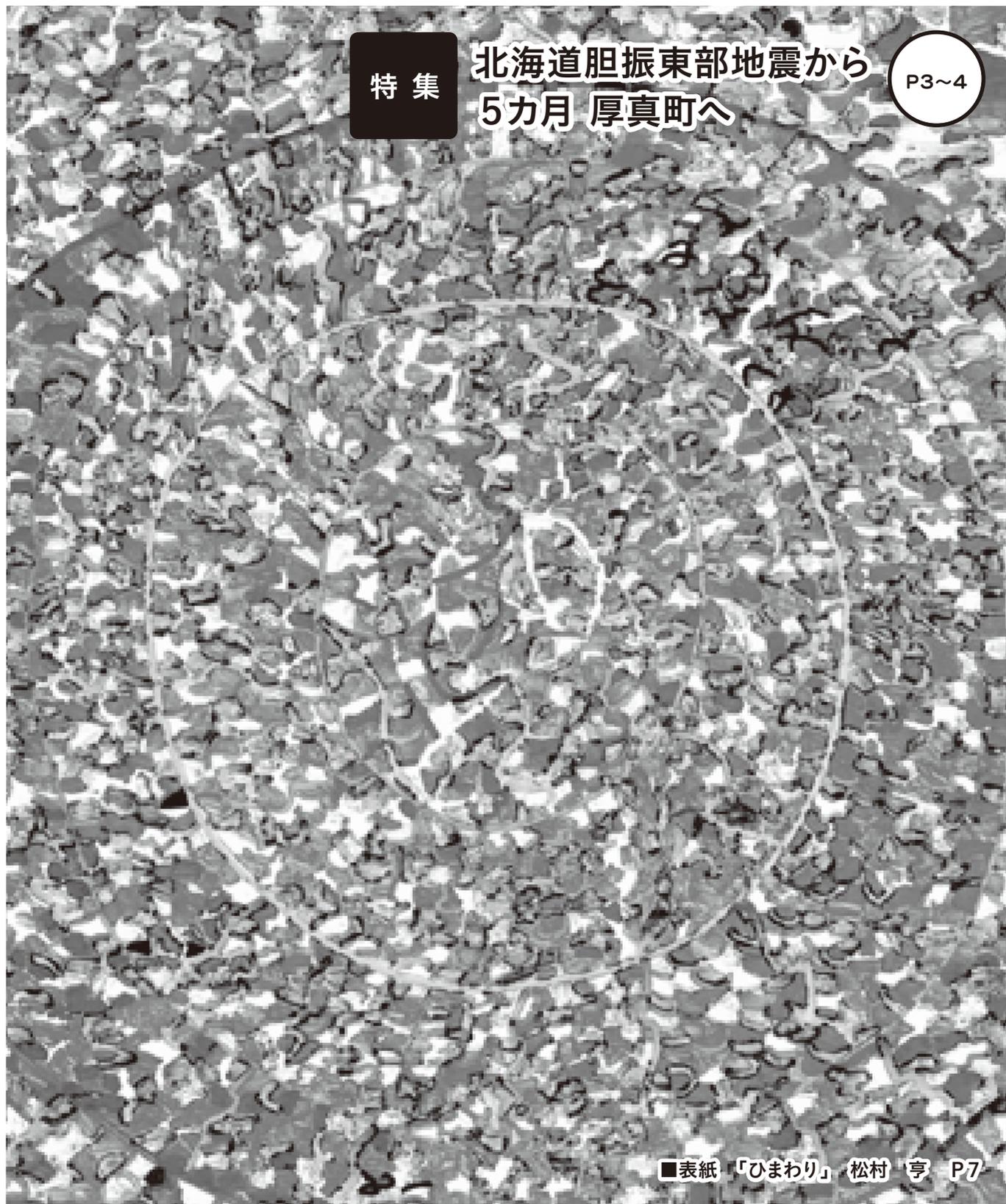
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://nplife.net/>

2019年 2月号 No.215 [February] 定価 100円

あどぼけいと [advocate] =すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。



特集

北海道胆振東部地震から
5カ月 厚真町へ

P3~4

■表紙「ひまわり」松村 亨 P7

ボクは、お酒が大好きだ。日本酒等の醸造酒もウイスキー等の蒸留酒もどちらも好きだが、ボク健康上からすると麦焼酎がいいらしい。醸造酒は新酒が旨いし蒸留酒は古酒が旨い。

■「新しい酒は新しい革袋に盛れ」と言う諺がある。

辞書には、「新しい思想や内容を表現するには、それに応じた新しい形式が必要だということ」とある。

ライフは、ワープロフロアー立ち上げから30周年を迎える。ウイスキーであれば30年物の古酒といわれきつと旨い酒だ。

ボク等は乗員6～7名の小型船舶から始まり、修繕に修繕を重ね、乗員が増えれば中古の中型船舶に買い替え、今は乗員150名が可能な中型船舶をなんとか維持している。この中古船は随分ガタが来ておりエンジンはもう替えなきゃだめだ。

「NPOライフ号」には乗客はいない。全員乗員であり一人ひとりに役割がある。船長や航海士、機関士などの役割分担はあるが、上下関係は極力なくしている。船舶の故障や乗員内のトラブルや悪天候などに出会えば、当然指示系統をしっかり活用するが、平常時は「水平」の関係でありたいと努力している。

さて問題は、NPOライフ号はどこに向かって航海しているのかということだ。

この差別まみれの日本国を棄て、差別の無いユートピアをめざして航海しているのではない。この国にある差別を無くするために、まずボクたち自身の関係や格差を無くし、自己の差別意識と格闘しながら、その経験を社会に伝え社会を変えていく役割(運動)を担って航海しているのだ。それを一言で表せば「共生・共働の社会」の創造ということになる。

ところが、航海中に「羅針盤」が壊れたり、航海士でも予測できない嵐に見舞われたりトラブルはつきものである。一つの判断ミスが大きな犠牲を生むこともある。そんな時は、新米の航海士よりはベテラン乗組員の経験が大きく役立つ。この世界では10年はまだまだヒヨコ。30年でようやく一人前。

■ 今日昨日の積み重ね、昨日を知らずして明日は語れない

さて、ボクらのNPOライフ号も順風満帆で航海してきたわけではない。荒波を越え、座礁して沈没寸前に仲間の船に救出された経験もある。そんな歴史の積み重ねがあって今のNPOライフ号が存続しているのであり、今の力だけで成り立っていると思っていたらそれは大きな誤解である。

「今日は昨日の積み重ね。昨日を知らずして明日は語れない」とライフの若者に言っている。

この30年、いろいろな苦労があった。最初の10年は本当にお金で苦労してきた。それでも今から思えば、一番人間味あふれた団体の10年間だったと感じている。中間の10年間はライフを立ち上げ、その方向をめぐっての苦悩と格闘の時期であった。最近の10年間はライフ内の格差だ。格差を埋めることが出来ない悩みの連続。金はあるが内部格差が広がったということ。

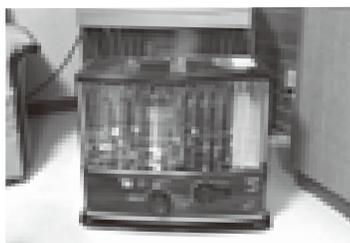
この「格差を如何に無くしていくのか」という課題を次世代に引き継ぐことになる。



あけましておめでとうございます今年もよろしくお願いいたします。札幌は札幌らしく雪がしんと降り積もり、スキー場のオープンが遅れていた去年の暮が嘘のような北海道らしい冬がきちんと訪れています。そんな中、夜中にふと目をさました時、まちかど荘の前を除雪車が一生懸命雪を掻きながら地響きのような低い音とかすかな揺れを残し通り過ぎていきます。こんな時、寝ぼけた頭の中で思いおこす記憶があります。

昨年9月6日に発生した胆振東部地震発生直前のあの何とも言えない恐怖心。発生後何回か続いた余震の中では、服を着たまま寝て余震のたびに住居の2階に駆け上がっていたものでした。しかし気づけばそれにもすっかり慣れてしまい自分の危機感の足りなさに情けなさを覚えます。暮らし委員会では地震後、地震対策のために災害時に必要になる物品の購入検討をしています。まずライフに現在あるものの中で、災害時に役に立つような物があるのか探し回りました。見つかったのは、だるまストーブ2台。寒さが増す前にもう一台手回し式で着火可能な灯油ストーブを一台購入しました。このストーブの購入には埼玉のライフ応援団の皆様のご寄付金で購入させていただきました。本当にありがとうございます。また地震発生直後、滋賀のガンバカンパニーさんより大量の電池の物資と、手回しラジオが届きました。

つながりのある仲間や応援していただく皆様のご厚意には本当に深く感謝いたします。他にも使い捨てカイロ、ランタン、車用充電器、寝袋、等の購入を考えています。地域の災害に対する勉強会への参加や、応急手当講習など、これからも暮らし委員会では、災害時に備え色々な活動をしていきます。



手回し式で着火可能な灯油ストーブ



大量の電池の物資と、手回しラジオ

引き継ぐべき事はライフ内部のことだけではない。障害者の権利擁護の問題も、制度や法が作られた背景も、その時代に当事者たちが何を求めて行動し、社会に働きかけていたのかをしっかりと知ることが大事である。何故なら、ボク等はそうした歴史の積み重ねの中で作られた「制度や法」に則った事業を行なっているからだ。そしてその制度や法が、当事者の意に沿ったものなのか、そうでないものなのか。変えるべきことがあればどこを変えるのか。なくすべきことや修正すべきことは何なのか。その歴史を知り、明日に向かって変革する活動を惜しまなく進めていくことも、是非引き継いでほしい。

■ コミュニケーション力を高めよう

コミュニケーション：辞書には『言語、身ぶり、画像などの物質的記号を媒介手段とした精神的交流のこと。語源はラテン語で「分かち合う」を意味するcommunicare。』と書いてある。

つまり、何かを共有することが本来の意味であり、「メッセージをやり取りして共有する」という意味で考えてみると、一方通行の伝達は、コミュニケーションではなく発信者の記録にしか過ぎない。相手に伝わって初めて「コミュニケーション」と言えることになる。すなわちお互いの理解を深める手段と考えると、今までのボクらのコミュニケーションも見直しする必要がありそうだ。

障害の世界のコミュニケーション手段も、言葉や文字以外に手話、点字、指文字、ITの活用などいろいろ開発されている。でもその伝達方法だけでは伝わらないものもある。それは「情」である。情の効果はお互いの関係性が前提となるとボクは思う。

これは一つの例にしか過ぎない。今までの自分のやり方をもう一度見直してみると、新しい課題が出てくるし、可能性も見えてくる。30年間の蓄積を土台にして、新しい10年のビジョンをみんなで描いてみよう



2018年9月6日(木)、深夜に突然大きな揺れを感じた北海道胆振東部地震。震度7となった厚真町では数百メートルにわたり山が崩れ、大量の土砂や木々が民家をのみこみました。そして厚真町だけではなく近隣の町にも大きな被害がありました。札幌市では、一部の地域が液状化現象により家屋が傾き道路の隆起や陥没などの被害がおき、さらに北海道全体がブラックアウト(停電)しました。あの地震から5ヶ月が過ぎようとしています。被害の大きかった厚真町へ、12月13日(木)に石屋製菓(株)様からのクリスマスプレゼントである「白い恋人」を届けに行きまして。 (石屋製菓(株)様からのプレゼントの様子はP8にて)厚真町の現在の様子と震災を振り返ります。

■厚真町周辺の様子

雪がうっすらと積もった時期でしたが、道路沿いに見える小高い山は土砂崩れの跡が目視でも確認できました。

当時、ニュースでは空からの映像が流れていましたが、広範囲に発生した土砂崩れでむき出しになった山肌に地震の激しさを感じさせられました。

この土砂災害でたくさんの方が亡くなられ、道路が寸断、家屋が倒壊し、水田や農場などにも莫大な被害がありました。

崩れた土砂は集められ、道路沿いに今でもたくさん積み重なっているのがとても印象的でした。



■厚真町災害ボランティアセンター

震災から数日後に開設された災害ボランティアセンター。職員の方のお話を聞かせていただきました。ここは元保育園だった場所を開放し、たくさんのボランティアの方達が震災後ここを拠点として支援に入られました。ボランティアセンターを通じた活動だけでも延べ4,500人を超えたそうです。

現在、ボランティア活動は少し落ちついたとはいえ、「今もなお全国からたくさんの支援物資やボランティア活動をしてくれる方々にとっても感謝している」とお話になっていました。センターの中には、「ぼらカフェ」が併設されていて、地域の人やボランティアの人達が交流を楽しむ場がありました。大変な時こそ、みんなが集まれる場所が必要なのだととても感じました。



左から坂本、石澤、草の実会 手塚氏

■仮設住宅



訪問時、厚真町の仮設住宅の方達はそれぞれ御自宅に帰られたということでしたが、近隣の町では今でも避難生活をしている方達があります。最近では震災後、ゴミの集積所になっていたパークゴルフ場に、被害のため道内違う場所に分散していた高齢者や体の不自由な人達が利用しやすいように配慮された、全国初の渡り廊下でつながれた福祉仮設住宅というものができたそうです。この仮設住宅は、バリアフリー・ヘルパー介助・ストレッチャーのまま入浴ができる他、雪による寒さの問題がありますので、本州の仮設住宅よりも断熱材が2倍になっているようで暖かく過ごすことができるそうです。

■震災を振り返る

あの日、突然の大きな揺れ。誰しものが不安に襲われた1日となりました。障害をもつ人達、1人暮らしの人はさぞかし不安な思いをしたことでしょう。震災時、近くのコンビニやスーパーには行列ができ、食べるものもまともに買えず、食料品や備品の準備の大切さを感じましたが、厚真町へ行きお話を聞いていると、地域の人達同士の助け合いや人とのつながりの大切さをより強く感じさせられた時間となりました。ライフの炊き出しにもたくさんの人達が集まり、困ったときこそお互い様ということを改めて感じたものです。突然の訪問にも関わらず快く迎えていただきましたボランティアセンターの皆様にお礼申し上げます。厚真町やその近隣の町の1日もはやい復興を心から願います。

■石屋製菓株式会社様よりクリスマスプレゼントが届きました

ご報告が遅くなりましたが、昨年12月に石屋製菓(株)様からのクリスマスプレゼントが届きました。今年は「白い恋人」と「恋するチョコレートミルフィーユ」でどちらも本当に美味しい北海道を代表するお菓子です。

今年は障害者関係の事業所だけではなく、震災被災地支援として厚真町社会福祉協議会を通じて、地域の子供たちにも配られました。その他、北海道内の児童養護施設、母子寮、ホームレス支援団体などにも配布いたしました。

今年もたくさんのプレゼントをいただき本当に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



■中央競馬馬主社会福祉財団様より福祉車両購入助成をいただきました

佐々木 泰彦

この度、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より、平成30年度施設整備等助成金を頂くことになり、昨年の9月27日(木)目録贈呈式に出席してきました。

会場が札幌競馬場(桑園)で新しくなってから初めて行ったので、とても広く感じたのと、車いすだったので、自分にだけは警備員の方がついて、控え室の方へ案内してくれました。30分ぐらい坂本さんと待ち、再度会場のほうへ誘導され、円卓テーブルが用意されていた部屋からは、競馬場のコースが見える広い会場でした。

札幌馬主協会の会長の挨拶から始まり、それぞれの法人名が呼ばれ、目録が贈呈されました。ライフは車イスが4台乗ることのできるタイプの福祉車両を申請し、購入することができました。

このような機会を頂きありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



初乗車は「たねや小山さん」

松村亨さん松アートの軌跡

ある日、商店街で障害者アートのポスターを見つけた松村さん。何か感じたのか自分から『応募したい』と。それが一般社団法人障がい者自立支援機構のパラリンアート事業でした。

スタッフが協力し登録したところ、早速、いくつかの応援企業に作品が採用されました。ライフの外部で自分の作品が認められ、自信とやる気に満ちている松村さん。誰でもちょっとしたきっかけで世界が広がること、人生が変わることを、私たちに教えてくれている気がします。

① いつから絵をかきはじめてのですか？

子供の頃からです。記憶は定かではないが小学校3年生か4年生だと思う。当時流行していた漫画のエイトマンを夢中に描いた思い出がある。そして、最近2年ほど前から再び描き始めた。

② 絵をかきはじめてきっかけを教えてください

きっかけはこころやで空いた時間で何かすることが無いかと思って絵を描き始めた。最初の絵は似顔絵とか動物が主に多かった。それから自分で考えて木とか花を描き始めたのがいまの絵に繋がった気がする。

③ 絵をかくときに使っている物はなんですか？

色鉛筆、マジックペン、クレヨンなど色々な道具を使っているが、一番気に入ったのは綺麗に描けるマジックペンだ。

④ 好きな色は何色ですか？

好きな色は特に黄色とピンクだ。なぜなら二つとも絵を明るくしてくれるからだ。夜空は暗くて濃い色を使っているが、ほとんど明るい絵を描いている。

⑤ 1枚の絵をしあげるのに、どのくらいの日数、時間がかかりますか？

1枚の絵を完成させるには5日間くらいかかるが、それ以上にかかる絵もある。また、疲れている時はあまり進まない。その時は絵を描かないでゆっくり過ごす日もある。

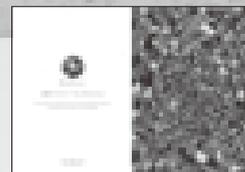
⑥ 次に描きたい絵や、目標があったら教えてください。

今、取りくんでいる「ひまわり」の作品が終わったら、第2弾の「大きなひまわり」を描こうと思っている。そして、これからはより落ち着いてゆっくり考え、綺麗に絵を描くようにしたいです。



■ これまでに採用された企業

- ユニチャーム(株) 2019年カタログ表紙
- WOWOWグリーティングカード
- 年賀状デザイン



Care

ヘルパーステーション 繭結

「予防は大事!!」 木谷 香奈子

寒い時期になり、皆さん厚着をしたりして風邪をひかないように気を付けていると思います。

ですが、この時期に決まって流行するウイルスには厚着だけでは予防にはなりません。

今時期はノロウイルスやインフルエンザが流行に入ります。

ウイルスによって予防方法は違いますが、自分のためにも周りのためにも、うがい・手洗い・マスクの着用など出来る限りの予防を心掛けましょう。

Travel

発寒工房・リユースプラザ

「歓楓会の様子」

去年の12月に発寒工房とリユースプラザの合同歓楓会で今年は定山溪の少し手前にある小金湯温泉に行ってきました。退職された方も参加してくれて毎年この時期が楽しみの1つでもあります。食事もお湯も大満足の日となりました。参加していただいた皆様ありがとうございました。



Sales

たねや イチオシ商品

「新年、明けましておめでとうございます。」

新年一発目はおもちの雑学回にしようと思います。

関東は切りもち(四角)、関西では丸もちが主流というのを聞いたことがあると思います。

お雑煮の味付けも関東はすまし汁仕立て、関西は白味噌仕立てが多いそうで、他の地域の食べてみたいですね!

たねやでは、玄米もち、よもぎもち、切りもち、丸もちなどなど、いろいろ用意しました。

一味違ったお雑煮を試してみたいか? 試してみたいか? 試してみたいか?



Cook

ひだまり レシピ

「ブリの唐揚げ

ご飯が進むブリの唐揚げです。」

材料 (4人分)
 ブリ 好きな量 コショウ 適量
 酒 大さじ3 片栗粉 適量
 醤油 大さじ3 油 適量
 塩 適量 生姜チューブ... 5cm

作り方

- ①ブリは洗ってペーパー等で水気をしっかり切る。
 - ②一口サイズに切ってポリ袋に入れる。
 - ③酒、塩を加え揉み込む。その後、醤油、生姜チューブ、コショウを加えてよく揉む。10分程置いておく。
 - ④水気をしっかりとり、片栗粉を軽くまぶす。
 - ⑤170度の油で3~5分、キツネ色になるまで揚げる。
- 【コツ・ポイント】**
 ◎ブリの水分はしっかり切ること。
 ◎片栗粉をまぶし過ぎないようにしたく。



平成30年度産低農薬米『ゆめぴりか』年間契約販売のご案内

年間契約
受付中!

北海道の『ゆめぴりか』

こころを込めて丁寧に精米してお届けいたします

2018年度新米入荷!

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。



北海道の優良品種
極良食味米

3kg 1,590円

5kg 2,650円

契約農家による低農薬米 だから安心・安全—

北海道勇払郡厚真町で、自然と付き合いながら農業を続けて50年、本田農場の『ゆめぴりか』を使用しています。

山深い厚真川の水田用水を利用し、除草剤・イモチ防除剤を各1回しか使用しない低農薬栽培をすることで、安心・安全な美味しい米づくりに取り組んでいます。



お客様のお好みに応じて
精米いたします

玄米

7分づき

白米

美味しくて栄養たっぷりの「7分づき」

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「7分づき米」です。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”として今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

年間契約販売は

10kg単位のご注文からとなります

《有効期限》

2018年10月1日～2019年9月30日の1年間

5%
OFF

60kg以上年間契約をしていただくと、値段より5%引かせていただきます。

通常31,800円が → **30,210円**

1,590円OFF!

送料
無料

年間60kg以上ご契約のお客様は、配送料無料とさせていただきます。

※対象は琴似エリアのみとさせていただきます。周辺応相談。

お買い求め・年間契約のお申込みは



生活介護事業

こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

平成30年度産低農薬米『ゆめぴりか』年間契約販売申込書

| | | | | | | |
|------|--|------|---|-----|--|--|
| ご契約者 | フリガナ | | | | | |
| | お名前 | | | | | |
| | 住所 | 〒 | — | | | |
| | 電話番号 | () | — | FAX | | |
| | | 携帯電話 | | | | |
| お届け先 | <input type="checkbox"/> 申し込み住所と同一 <input type="checkbox"/> その他（下記に記載の住所） 店頭受取（いずれかに○）【こころや・たねや・ひだまり】 | | | | | |
| | 〒 | — | | | | |

| | | | |
|------|----|--|----|
| 契約数量 | 年間 | | Kg |
|------|----|--|----|

| | | | |
|--------|---|--|--|
| お支払い方法 | <input type="checkbox"/> 現金支払（ご来店予定日 月 日） 営業時間：平日10:00～17:00 | | |
| | <input type="checkbox"/> 銀行振込（ご入金予定日 月 日） | | |

| | | | | |
|-----|-----|---------------------------------------|------|--------------------|
| 振込先 | 銀行名 | <input type="checkbox"/> 北洋銀行 琴似中央支店 | 口座番号 | 普通 4660616 |
| | 口座名 | 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや | | |
| | 銀行名 | <input type="checkbox"/> 北海道信用金庫 琴似支店 | 口座番号 | 普通 4297231 |
| | 口座名 | 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや | | |
| | 銀行名 | <input type="checkbox"/> ゆうちょ銀行 | 口座番号 | 振替口座 02710-4-63485 |
| | 口座名 | NPO札幌障害者活動支援センターライフ | | |

※振り込んだ銀行名にチェックを入れてください。

| | |
|--------|---|
| 申込書郵送先 | 生活介護事業 こころや |
| | 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F TEL 011-614-1871 |

FAX (011)613-9323

| | | 事務記入欄 | | | | |
|---------|----|-------|------|----|----|-------|
| こころや記入欄 | 価格 | 契約表 | 弥生入力 | 入金 | 日付 | 受付担当者 |
| | | | | | | |

ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

作業 共働事業所きばりや 就労継続支援事業A型
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

生活 ころこや 生活介護事業
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

飲食 コン・プリオひだまり 就労継続支援事業B型
TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

販売 共働サービスたねや 就労継続支援事業B型
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

介護 ヘルパーステーション繭結(ゆい) 指定居宅介護事業
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

営業 アウトソーシングセンター元気ジョブ 札幌市委託事業
TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

印刷 共働事業所もじや 札幌市障がい者協働事業所
TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談 相談室らいふ 相談支援事業所
TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

飲食 Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ) 就労継続支援事業A型
TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808
札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

環境 リサイクルプラザ発寒工房 札幌市委託事業
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835
札幌市西区発寒15条14丁目2-30

環境 札幌市リユースプラザ 札幌市委託事業
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

2月

イベントカレンダー

17日

日

厚別リユースプラザ

「2019冬フェスタ」
札幌市下水道科学館
9:30~16:00

23日

土

厚別リユースプラザ

「リユース冬まつり」
10:00~15:00

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください！

<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

ヘルパーステーション 繭結(ゆい)

求人情報



■ 訪問介護スタッフ
正社員・パート同時募集！

ブランクのある人も
実務経験がない人も大歓迎！
利用者さんと一緒にできることをひとつひとつ
増やしていきましょう！

詳しい詳細は
ライフHP(<http://www.npolife.net/>)
またはライフ本部(011-633-6666)までご連絡
ください。

■ インスタグラムはじめました！



ザン太郎

■ たねや WEB SHOP



たねっつ

ご協力ありがとうございます

11月分・順不同・敬称略

■アドポケット購読料

猪俣 由美 山内 徹 石澤 利夫 酒井 緑
(社福)札幌協働福祉会

■寄付金

山本 价則 石澤 利夫

■賛同会員会費

高井 健男 (社福)札幌協働福祉会

■維持会員会費

長崎 昭子

■ビル建設基金

石澤 利巳

12月分・順不同・敬称略

■アドポケット購読料

並木 節 光増 昌久 田中 美穂 新井田 曜子
金子 元子 川村 勇 戸澤 泰子 富塚 とも子
加藤 幸二 水口 祥次 原田 誠司 八倉巻 久勝
熊谷 智義

■寄付金

並木 節 光増 昌久 児島 義道 金子 元子
川村 勇 戸澤 泰子 原田 誠司 新井田 曜子

加藤 幸二 匿名1名

(株)特殊衣料 北海道信用金庫

■賛同会員会費

光増 昌久 川村 勇

■ビル建設基金

我妻 武

ライフカンパ のご案内

ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

■北洋銀行 琴似中央支店 普通 4606735

特定非営利活動法人

札幌市障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

■北海道信用金庫 琴似支店 普通 3296744

特定非営利活動法人

札幌市障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

■ゆうちょ銀行 振込口座 02710-4-63485

NPO札幌障害者活動支援センターライフ

※アドポケットに同封の払込取扱票もご利用になれます。

編集後記

年も明け、積雪も多くなる中、皆さま風邪など引かずに過ごしていらっしゃいますか？

胆振東部地震から5か月がたった今、現地の様子、そして、ライフとしての防災対策を見直してみようと特集を組んでみました。日々の生活に慣れるとおそろかになりがちな防災ですが、全国各地では今でも地震が止まりません。「備えあればうれいなし」その心構えだけは忘れずにいたいです。(野崎友宏)

月替わりコラム 「罪の声(著者 塩田 武士)」

ひだまり よっち

最近、ダークストーリーにはまってる自分です。今回紹介するのは「罪の声」という長編小説です。

日本犯罪史上最大の未解決事件のひとつである「グリコ森永事件」。大企業の社長を誘拐するという大胆な手口。企業に脅迫状と毒入り菓子を送り付け、毒入り菓子を店にばらまく。テレビで店からキャラメルやお菓子がなくなる映像はショッキングでした。マスコミに警察をおちよったような挑戦状を送り付ける劇場型の犯罪容疑者として浮上した「キツネ目の男」一年半にもわたって複数の企業をターゲットにし派手に立ち回りながらも闇に消えてしまった「かい人21面相」。その「グリコ森永事件」をモチーフにしたフィクション。物語は事件を追う記者の阿久津と、子供の頃脅迫に使われたカセットテープに自分の声が使われていたと気付いた曽根の二人の男性の視点で展開していきます。非常に細かい所まで描かれていてグイグイと引き込まれていきました。余りにも細かくて息苦しい緊張感。これは本当にフィクションなの？それともノンフィクション？って思うくらいドキドキしながら読んでしまいました。長いので読むのが少し大変ですが面白かったです。



アドポケット
2019年2月号
No.215 定価 100円

2019年2月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号563号 1973年1月13日第三種郵便物承認 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485